



爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.24 令和6年2月15日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ~かしこく やさしく たくましい 明神っ子~
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

2年生町探検

1月23日(火)に、2年生が町探検を行いました。保護者の方々に御協力をいただきながら、4つのグループに分かれ、8カ所の事業所に見学をしに行きました。各事務所では、丁寧に質問に答えてくださり、初めて知ったことや見たことが沢山ありました。働く方々の工夫や思い、地域のよさに気付くよい機会となりました。

また、お世話になった事業所の方に感謝の気持ちを込めて、子供たちがメッセージカードにお礼を書き、それぞれの事業所に届けました。子供たちの「やりたい!」「やってみよう!」をもとに、「学ぶことの楽しさ」と「学ぶことへの感謝の心」を育んだ充実した活動となりました。

職場見学を快く受け入れていただいた事業所の皆様や引率して下さった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



不審者対応避難訓練

2月2日(金)の3校時に、全校で不審者対応の避難訓練を行いました。私たちは、今から



約23年前、平成13年6月8日、児童8名の命が奪われ、15名が負傷した大阪教育大付属池田小学校での悲惨な事件を忘れてはいけません。110番通報をしてから警察の方が現場に駆け付けるまでの平均時間は8分前後とされています。その間、子供たちの安全を、そして私たち職員自身の安全をどのように守っていくのか、様々なことを想定して訓練しておくことが大切だと考えます。

今回は、職員が不審者に対処している間、教室内で待機する場合を想定しての訓練を行いました。

各学年とも訓練放送が入ると同時に、ドアや窓の鍵を閉め、入り口にバリケードや目隠しをして、廊下から見えない位置に隠れました。電気を消して静かに待機している子供たちの姿は、真剣そのものでした。「危険は意識が薄らいだ時にやってくる。」このことを肝に銘じながら、日頃の安全管理と訓練を徹底していきたいと思えます。

【裏面もご覧ください】

第3 保育園との交流会

2月2日（金）の5校時に、1年生と第3保育所の園児との「なかよし交流会」が行われました。来年度小学校に入学する年長の園児のために、いろいろなゲームや発表で交流を深めたり、園児からの質問に答えたりしました。これまで学習してきた詩の暗唱や絵本の読み聞かせ、ミュージックベルの演奏など、堂々と立派に発表することができました。

保育所の園児のためにと、心を込めて取り組んだ活動は、自分たちの学びを振り返り、1年間の成長を実感できた素晴らしい時間となりました。



タグラグビー

2月5日（月）に親師会副会長の岩田さんをコーチとしてお招きし、3、4年生の体育の授業で「タグラグビー」を行いました。タグラグビーとは、タックルの代わりに腰に付けた2本のタグを、お互いに取ったり取られたりしながら行うラグビーです。ボールを前にパスしてはいけない、というルール以外は、特に難しいルールはありません。子供たちは、初めて扱う楕円形のボールに興味

津々で、岩田さんのアドバイスを聞きながら楽しそうにパスをしていました。グラウンドには、笑顔と歓声が響きわたり、生き生きと活動する子供たちの姿が見られました。そのような光景を見て、私たち職員も、とても幸せな気持ちになりました。



平和教育

2月7日（水）の3校時に「房の会」という退職女性教師の会の皆さんを講師としてお招きし、6年生に「平和の授業」を行っていただきました。当日は5名の先生方が来校され、紙芝居を使って戦時中の銃子空襲の悲惨さや当時の生活、防空壕への避難の様子などを説明してくださいました。



また、当時小学生として実際に戦争を体験された方が、子供たちの質問に答えてくださり、教科書には載っていない、貴重な学習をすることができました。戦争を実際に体験された方から聞く言葉は、何よりも子供たちの心に響いたことと思います。講師の先生の中には、6年生の子供たちの真剣な眼差しに感動して涙を浮かべている方もいらっしゃいました。教える側も、教わる側も「平和」を願い学び合う、とても素敵な授業でした。

心の潤い

先日、私が廊下を歩いていると、出入り口付近で5年生の女子児童がドアを開けて待っていてくれました。さらに、すれ違うときに笑顔で「こんにちは」と挨拶をされ、心がとても温かくなりました。そのような行動をさりげなく、当たり前のように行える明神小の子供たちは、本当に素晴らしいと感じています。

